

がん検診チェックリスト【都道府県用】の遵守度調査

1. 目的

都道府県が、各市町村および当該都道府県全体の精度管理において、適切なデータ把握や体制整備を行っているかどうかを評価する目的で、都道府県自身が行う自己点検のための調査です。

2. 調査対象年度

調査1：平成28年度のがん検診の実施体制と、過去のがん検診の結果の把握状況についての調査結果（※）を示します。

※がん検診の詳細な結果が判明するのは1年以上かかるため、前々年度の調査を行っています。そのため、今回は平成26年度分の各がん検診に関する調査の結果を示します。

調査2：都道府県の実施する生活習慣病検診管理指導協議会の、平成28年度の活動状況についての調査結果を示します。

3. 方法

各がん検診チェックリスト【都道府県用】の各項目に関して遵守しているかどうかを確認し、どのような項目が遵守できていないか、を明確にしました。項目別の遵守状況を以下に示します。

精度の水準を引き上げるためには相応の経費を要するものもありますが、県では、がん検診の精度の向上と均てん化（地域格差をなくすこと）のために、市町村での精度の底上げを目指していきます。

なお、×の項目も最近の検診では、既に改善されている場合があります。

都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査

本調査票は厚生労働省の「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」の項目をベースに、厚生労働行政推進調査事業費補助金「検診効果の最大化に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究」班の協力を得て作成しました。

調査1 精度管理指標の把握状況に関する調査

【回答時の注意事項】

- 平成28年度に実施された内容(実績)に基づき、全ての項目にご回答ください。
回答期間内に実施した場合は○、平成29年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答してください。
- 全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合にのみ○とご回答ください。本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します。
- 対象年度の検診を実施していない場合は、ご回答は不要です。また【通信欄】にその旨をご記入ください。

【本調査の対象年度について】

平成28年度に把握可能な最新年度を想定し、下記の年度を指定しています。

- 平成28年度の検診対象者
- 平成26年度の検診のプロセス指標*

※一部の都道府県では、地域保健・健康増進事業報告の公表データ(平成25年度)や、1年前(平成27年度)のデータを集計・分析対象としている場合もあることから、貴都道府県の方針で平成25年度、あるいは平成27年度のデータを把握・集計している場合も例外的に可い。*

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください。

1. 受診者の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成28年度の対象者数(推計を含む)を把握しましたか (胃がん検診では、胃部内視鏡/胃エックス線検査両方の対象者数を把握した場合のみ○とする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 平成26年度の受診者数を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-1) 平成26年度の受診者数(率)を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-2) 平成26年度の受診者数(率)を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-3) 平成26年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-4) 平成26年度の受診者数を検診受診歴別 ^(注1) に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 要精検率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成26年度の要精検率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 平成26年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2) 平成26年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3) 平成26年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-4) 平成26年度の要精検率を検診受診歴別 ^(注1) に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3. 精検受診率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 平成26年度の精検受診率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 平成26年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2) 平成26年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3) 平成26年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-4) 平成26年度の精検受診率を検診受診歴別 ^(注1) に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 平成26年度の精検未把握率を把握しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

解説：未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び(精検受診したとしても)精検結果が正確に分からないもの全て

5. 偽陰性例（がん）の把握 検診の実施年度は問いません		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である						
(1)	（受診者の追跡調査や地域がん登録等により）検診受診後の偽陰性例を把握しましたか	×	×	×	×	×
解説： 検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがん（基本的には1年未満に発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年未満に発見された乳がん・子宮頸がん）						
(2)	偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか	×	×	×	×	×
(3)	検診受診後1年以上経過してから発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された乳がん、子宮頸がんを把握しましたか	×	×	×	×	×
解説： 住民検診受診後、規定された次回の検診（基本的には、胃・大腸・肺がん検診は1年後、乳・子宮頸がん検診は2年後）を受けずに、検診以外で発見されたがん						

6. 不利益の調査 検診の実施年度は問いません		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下4項目は次のような方法によって把握が可能である						
<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計している 主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書^{注2)}を送付し、その後報告されたものを集計している 						
(1)	検診受診後6ヶ月（1年）以内の死亡者を把握しましたか	×	×	×	×	×
解説： 検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除く						
(2)	精密検査による偶発症を把握しましたか	×	×	×	×	×
(2-1)	消化管穿孔例（胃がん）、腸管穿孔例（大腸がん）、精密検査に伴う気胸や感染症（肺がん）、治療が必要な中等度以上の出血例（乳がん・子宮頸がん）を把握しましたか	×	×	×	×	×
(2-2)	その他の重要な偶発症を把握しましたか	×	×	×	×	×
解説： 入院治療を要するもの（例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎（胃がん、大腸がん）、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血（肺がん）、検査後の骨盤内感染症（子宮頸がん）、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症（乳がん）等）						

注1) 初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別：初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）、前年に受診歴がない者（肺がん）
注2) 依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」<http://nxc.jp/nccscr-commu/>に掲載しています

続けて、次のワークシート「調査2 事業評価の実施状況に関する調査」にご回答ください。

注3) 該当する市区町村、検診機関がなかった場合は「対象なし」とご回答ください。

9. 事業評価の結果に基づく指導・助言 (平成28年度に実施されたことに基づいてご回答ください)	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-1) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市区町村や検診機関に配布しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-2) 事業評価の結果について、市区町村や検診機関に対する説明会を開催しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
(2) 事業評価の結果に基づき、市区町村や検診機関に対して個別の指導・助言を実施しましたか ^{注4)}	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-1) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の市区町村への指導、助言を実施しましたか ^{注4)}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-2) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の検診機関への指導、助言を実施しましたか ^{注4)}	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
解説： 個別検診受診医療機関に関しては、市区町村を介して検診機関に指導が行われていれば○とする(市区町村の指導内容を必ず確認すること)										
(2-3) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の市区町村への指導、助言を実施しましたか ^{注4)}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-4) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の検診機関への指導、助言を実施しましたか ^{注4)}	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
解説： 個別検診受診医療機関に関しては、市区町村を介して検診機関に指導が行われていれば○とする(市区町村の指導内容を必ず確認すること)										

注4) 指導対象の市区町村、検診機関がなかったため指導、助言を実施しなかった場合は「対象なし」とご回答ください。

10. 事業評価の結果の公表 (平成28年度に実施されたことに基づいてご回答ください)	胃がん		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 何らかの事業評価の結果を、個別の市区町村や検診機関の状況も含めてホームページで公表しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
解説： 協議会や、都道府県内部での検討の議事録や、事業評価のために使用した資料の一部など、何らかの内容が公表されていれば○とする										
(1a) 上記(1) はがん部会として公表しましたか ^{(1)が×の場合は回答不要です}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1) 市区町村のチェックリスト遵守状況をホームページで公表しましたか(市区町村名は必須です)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1a) 上記(1-1) はがん部会として公表しましたか ^{(1-1)が×の場合は回答不要です}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-2) 検診機関のチェックリスト遵守状況をホームページで公表しましたか(検診機関名の有無は問いません)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-2a) 上記(1-2) は全ての検診機関名を付けて公表しましたか ^{(1-2)が×の場合は回答不要です}										
(1-2b) 上記(1-2) はがん部会として、検診機関名を付けて公表しましたか ^{(1-2)が×の場合は回答不要です}										
(1-3) 市区町村のプロセス指標数値をホームページで公表しましたか(市区町村名は必須です)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-3a) 上記(1-3) はがん部会として公表しましたか ^{(1-3)が×の場合は回答不要です}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-4) 検診機関のプロセス指標数値をホームページで公表しましたか(検診機関名の有無は問いません)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-4a) 上記(1-4) は全ての検診機関名を付けて公表しましたか ^{(1-4)が×の場合は回答不要です}										
(1-4b) 上記(1-4) はがん部会として、検診機関名を付けて公表しましたか ^{(1-4)が×の場合は回答不要です}										
(1-5) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の市区町村に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか ^{注5)} (指導先の市区町村名は必須です)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-5a) 上記(1-5) はがん部会として公表しましたか ^{(1-5)が×の場合は回答不要です}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-6) チェックリスト遵守度調査で、貴都道府県が設定した評価基準以下の検診機関に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか ^{注5)} (指導先の検診機関名は必須です)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-6a) 上記(1-6) はがん部会として公表しましたか ^{(1-6)が×の場合は回答不要です}										
(1-7) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の市区町村に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか ^{注5)} (指導先の市区町村名は必須です)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-7a) 上記(1-7) はがん部会として公表しましたか ^{(1-7)が×の場合は回答不要です}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-8) 精検受診率が国の許容値以下(乳がんが80%未満、その他は70%未満)の検診機関に対する改善指導内容をホームページで公表しましたか ^{注5)} (指導先の検診機関名は必須です)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-8a) 上記(1-8) はがん部会として公表しましたか ^{(1-8)が×の場合は回答不要です}										
(1-9) 都道府県チェックリストの遵守状況をホームページで公表しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-9a) 上記(1-9) はがん部会として公表しましたか ^{(1-9)が×の場合は回答不要です}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注5) 指導対象の市区町村、検診機関がなかったため公表しなかった場合は「対象なし」とご回答ください。

11. 個別検診における検診機関の精度管理

個別検診を受託する検診機関の精度管理について、上記の他に組み込まれている事があれば具体的にお書きください。(自由記載)
(例:現時点で協力可能な医療機関のみを対象として事業評価を実施した、医師会単位でのみ事業評価を実施した、など)

--

「10. 事業評価の結果の公表」で公表済み(○)と回答された場合

12. 主に、情報を公開しているホームページのアドレス(URL)をご記入ください

胃がん	http://www.msuisin.jp/gan-net/quality-control-result.php
大腸がん	http://www.msuisin.jp/gan-net/quality-control-result.php
肺がん	http://www.msuisin.jp/gan-net/quality-control-result.php
乳がん	http://www.msuisin.jp/gan-net/quality-control-result.php
子宮頸がん	http://www.msuisin.jp/gan-net/quality-control-result.php

ご記入いただいたURLは、国立がん研究センター等のHPに掲載を予定しています。(リンク紹介ページ等) ご了承いただけない場合は、下記通信欄にその旨ご記載ください。

以下の署名欄にご記入ください。

ご署名欄	
都道府県名	宮崎県
ご所属	福祉保健部健康増進課
お名前	村田天秀
電話	0985-26-7078
E-mail	murata-takahide@pref.miyazaki.lg.jp
【通信欄】 8(4)が入力できませんが、全て「×」です。	

ご協力ありがとうございました。